

里芋 (土垂)

情報提供：静岡県藤枝市在住 M様 (52259) 2012年11月2日

スーパーERを使い始めてから土壌の状態が良くなり、虫がよらなくなりました。農薬を使わずに収穫でき、食味も良くなりました。

特長

- 葉のつやが良く、茎の太さも申し分ない状態で、とても素晴らしく育ちました。
- 全体的に成長が早かった為、例年より早く管理ができました。
- 土の状態が良くなり、虫がよらなくなった為に、農薬を使わずに済みました。
- 「味がよく、やわらかい」「日持ちがする」と評判が良いです。

栽培地状況

- 藤枝市北西部の中山間地に位置し、川の近くの平野です。日当たりが良好で、野菜の栽培に適した土地です。
- 畑の広さは27アールで、里芋は1アール栽培しました。
- スーパーERを使い始めてから6年目になり、里芋への使用は3年目になります。
- 他にも、大豆、しそ、ブロッコリー、ほうれん草等を栽培しています。

施用状況

<2014年～> 1アール当たり

| | 日付 | 希釈倍率 | 施用量 |
|--------|-------------|------|-----|
| 土壌灌水 | 3月下旬 | 500倍 | 70ℓ |
| 定植時期 | 4月上旬 | | |
| 作物への散布 | 7/ 10 | 500倍 | 30ℓ |
| | 8/ 20 | | |
| 収穫時期 | 9/10 ~ 11月末 | | |

生産者の声

- 「農薬を使わずに作りたい」との思いが実現できて良かったと思います。
- 「他の畑と違う」と、周りの農家の方に言われます。
- 有機肥料で栽培しましたが、土が変わるのがわかりました。
- 秋になり昼夜の温度差が大きくなってくると葉の成長が止まる為、早めに管理出来たことが良い状態につながりました。
- シソにもスーパーERを使用していますが、病気が少なく、収穫量が増えています。又、大豆は味が良く、昨年食べた方が「早く欲しい」と待っています。

◆ご使用にあたってのポイント

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。